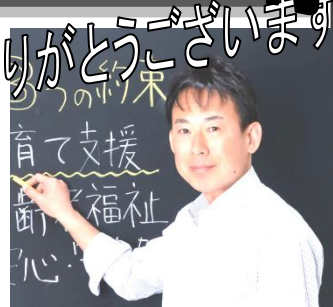


しんじ新聞

No.406

2016年10月
品川区議会議員
無所属
高橋 しんじ

※毎週、区政や区内の出来事についてご報告しています



☆☆ 品川区イス ☆☆

◇「シン・ゴジラ」、品川区に上陸!

映画「シン・ゴジラ」の巨大看板が品川区に登場。北品川周辺での撮影に協力した縁で、東宝株式会社より貸し出されました。さて、区のどこに掲示されているでしょうか

- ①きゅりあん
- ②大崎駅
- ③区役所

◎難易度 ☆☆☆



本会議報告 ①

品川区の18歳選挙権



Q(質問): ①18歳選挙権引き下げに伴う、啓発活動の成果と課題は。また、今後の取り組みは。②参院選での18歳、19歳、20歳の投票率は? ③期日前投票の傾向、今後の対策は。

A(答弁): ①全ての有権者に投票参加を促すメッセージカードを送付。高校での模擬選挙・大学での啓発活動など。②18歳が64.50%、19歳が57.48%、20歳が50.71%。過去2回の参院選の20歳代の投票率は、34.00%、38.84%。今回は比較的高い投票率である。啓発の効果は、新たな取り組みが少なからず影響を与えることができたのではないかと。③仕事や家事、旅行等により、近年増加している。より効果的な配置という観点で、商業施設の活用を含め、より利用しやすい期日前投票所について検討していく。

☆(私のコメント): 今回の小中学校・高校における出前授業や模擬選挙に満足せず、きちんと検証をし、さらにレベルアップした取り組みを求めます。また、江戸川区のように商業施設内(イトーヨーカドー等)の期日前投票所の実現を求めます!

高橋しんじ事務所

品川区東大井 4-13-11-304 〒140-0011
TEL: 03-5461-8757 FAX: 03-5461-8763
E-mail: takahashi-shinji@spa.nifty.com
ホームページ: [品川区 高橋しんじ](#)

- ☆過去の『区政報告』がHPでご覧になれます。
- ☆『区政報告』への感想をぜひお寄せ下さい。
- ☆『区政報告』をお店の片隅に置かせて下さい。



◇9月23・26日に第3回定例会議で一般質問が行われました。今号と次号でその質疑の一部をご報告します。私の質問の順番ではありませんでしたので、すべて他議員の質問です。答弁は、区長含め部長以上です(教育長含む)。

都市型観光

Q: 映画「シン・ゴジラ」では、大田区が区の商店街等とキャンペーンを行っている。品川区は、コラボレーション(協力・連携)ができていない。しながわ水族館でロケしたNHKドラマ「水族館ガール」でも同様。今後、撮影協力作品とのコラボレーション、活用の企画・交渉を行うフィルムコミッション機能の強化を求めるが。



A: フィルムコミッションの機能強化は、観光やシティプロモーションの観点から重要で、機能は、区が担うべき。体制の充実、企画・交渉のノウハウ蓄積などにより、機能強化に努める。

☆他自治体では、広告関係の民間企業から人材を採用し、広報面での政策が飛躍的に向上した例があります(千葉県流山市等)。そのくらい積極的な政策を採用する必要があります。

高橋しんじプロフィール

平成27年4月551,247票(2位。1位と58票差)のご支持を頂き、現在3期目。若草幼稚園、品川区立鈴ヶ森小・中学校、早実高、早大(政経学部政治学科 専攻は地方行政)・同大学院博士課程で学ぶ。東大研究員、塾などを経て、教師(早実高、都立日比谷高・青山高・大森高)。軟式野球ルーキーズ監督。平成19年初当選(2541票)、平成23年5232票(1位)。『議員力検定1級』合格
☆初心を忘れずにガンバります!

しがらみのない無所属



区政報告

No.406 2016年 10月

発行者 高橋慎司

〒140-8715 品川区広町 2-1-36 4階

Tel 03-5742-6862

☆区政へのご要望をお寄せ下さい！！
☆ご希望の方に「区政報告」をお届けいたします(送料は当方で負担します)

ダブルケアについて

Q: ①国の「ダブルケア」の調査結果についての区の認識は。また、区でも実態調査実施を。②周知・啓発を。③「ダブルケア視点」を持った相談体制の整備を。



キーワード

ダブルケア=子育てをしながら親の介護をしている状態。保育施設・介護施設ともに数が不足していることから、子育てと介護の両立に悩む世帯が多く見られます。

A: ①内閣府で初めて実態把握が行われた。ダブルケアを行っている方の平均年齢、就業状況等の客観的な状況が浮き彫りになった。区では、民間事業者や地域を含めた総合的な支援を図っていく。区の実態調査は、必要性について検討する。②周囲の理解が促進されるよう、情報発信に努める。③高齢者相談及び子育て相談は、専門性が高いため、それぞれの場で対応しているが、実情に応じて、専門窓口や専門機関にご案内している。



☆調査では、全国で少なくとも25万3千人いることがわかった。女性が16万8千人で、男性が8万5千人。女性に、より負担が偏っている実態が浮かび上がりました。ダブルケアの考え方は、横浜

国立大学の相馬直子准教授などが唱え、約十年前から、今後の大きな問題になると指摘されてきました。役所のタテ割りの政策では、解決できないので、異なる部署間の連携が求められます。

クイズの答え: ③区役所本庁舎3階入口にあります。ぜひ、ご覧下さい(展示は映画の公開期間中まで)。映画のどの場面で品川区が出てくるか、見つけるのも面白いです。区内のある駅が無残にも破壊されてしまいます…。

あの街ズームイン!

◇都営地下鉄、全駅トイレに温水洗浄便座

都は、2020年東京五輪・パラリンピックに向け増える見込まれる外国人旅行者や高齢者を意識し、利便性や快適性を高める。都によると、単独で管理する全101駅では、車いす利用者や妊婦でも使える「誰でもトイレ」で温水洗浄便座の整備を進めているが、一般のトイレには未設置。今年度は大江戸線の一般トイレを中心に設置を始め、来年度から本格的に予算を増やす方針。参考: 10/5 朝日新聞



成人眼科検診を

Q: 緑内障検診や眼科検診を実施する自治体が増えている(大田区、目黒区、世田谷区、台東区等)。品川区でも40歳以降の眼科検診を希望する。

A: 緑内障は罹患率(りかんりつ=病気にかかる率)が高く、自覚症状が少なく失明に至ることから、検診は早期発見に有効である。また、目の疾患は、生活の質にも大きく影響することから、検診の効果的な対象年齢や実施方法等について研究を進める。



自殺予防について

Q: 区の学校では、どのような自殺予防教育が行われているか。また、いじめ、虐待も自殺の誘因因子として重要である。自殺予防の観点から区の取り組みは。

A: 市民科を中心に学習している。また、担任等がチャリストで気になる子どもに声をかけたり、相談機関の連絡先を記載したカードを生徒に配布して、子ども自身がSOSを発信できるようにしている。いじめについては、学校いじめ対策委員会を中心にハーツ等との連携も図りながら、様々な方法で早期発見・対応に努めている。◎28年度予算額

- ・いじめ対策委員会 956,000円
- ・ハーツ(品川学校支援チーム)経費 29,349,000円

☆区は「考えられる全ての手段を講じて予防対策を進めていく」と答弁しています。実行を!



朝、駅前にいます!

◎『区政報告』をお配りしています。
◎議会等の事情で変更する場合があります。
◎見かけたらお気軽にお声をおかけ下さい。

月・水 JR大井町駅前
火 京急青物横丁駅前
木 JR大森駅前
金 京急立会川駅前
☆ 各7:00-9:30頃